

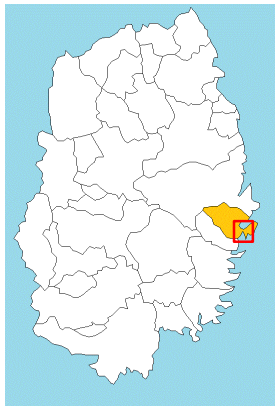
<船越南地区海岸災害復旧(23災599号)工事 事業概要>

◆船越南地区海岸の概

・船越南地区海岸(三陸南沿岸山田海岸)は、昭和35年のチリ地震津波を契機に、チリ地震津波対策事業でT.P.+4.4mの防潮堤が完成していたが、さらに昭和43年十勝沖地震津波により越波したため、海岸高潮対策事業にて昭和53年までにT.P.+8.35mへの高上工事が実施された。
また、平成11年2月の冬期波浪により被災したため、海岸災害復旧助成事業により、防潮堤の復旧及び人工リーフの設置が行われた。

◆被災状況

・H23.3.11 東日本大震災津波によって、船越湾は痕跡値T.P.+19.0mの津波に襲われ、当該地区は壊滅的な被害をうけ、海岸保全施設も施設全体が沈下するとともに、防潮堤の一部が破堤・倒壊し、人工リーフも流出するなど、深刻な被害を受けた。



被災前 (2010. 3. 9)

被災後 (2011. 3. 28)



◆復興まちづくり計画

・山田町復興まちづくり計画(船越・田の浜地区)

- 土地利用の方針
災害危険区域からの移転者が居住する高台団地として、船越半島側の高台道路に沿って団地(第2、5、6、7、8団地)を整備します。
- 道路・交通の方針
国道45号から分岐する町道長林大浦線と浦の浜田の浜線は、船越半島側の幹線道路として位置づけ、平時における集落分断の解消、被災時における集落孤立の回避を図るため、高台部分で整備を進めます。
- 主要施設配置の方針
防潮堤については、土堤(浦の浜: TP+11.6m、前須賀: TP+12.8m)を基本として整備します。
高台で既に再建された船越小学校、新たに建設された田の浜コミュニティセンター、既存の船越防災センターについては、地区のコミュニティ形成の中心施設、災害時の主要な避難施設として位置づけます。



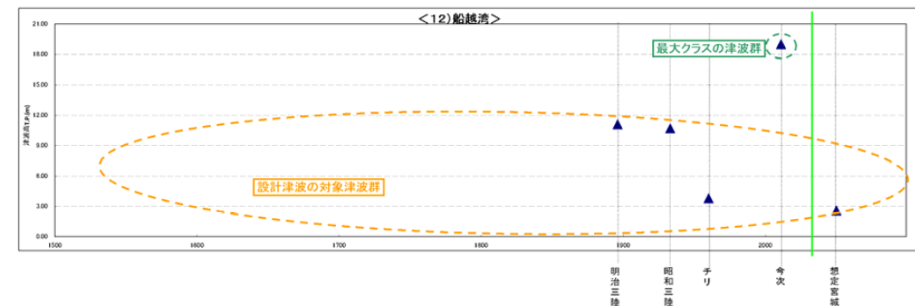
◆防潮堤嵩上げ計画

- H23.7.8付海岸関係省庁通知に基づき、以下の手順で計画堤防高を設定した。
 - ①過去に発生した津波の中から設計対象波を選定。
 - ②せり上がりを考慮した津波の水位を算出し、設計津波の水位を算定。
 - ③余裕高1.0mを加えた高さを新計画堤防高として設定。
- 「岩手県津波技術専門委員会」での審議を経て、船越湾(船越南地区海岸を含む)の新計画堤防高をT.P.+12.8mと設定した。

◆計画高の設定

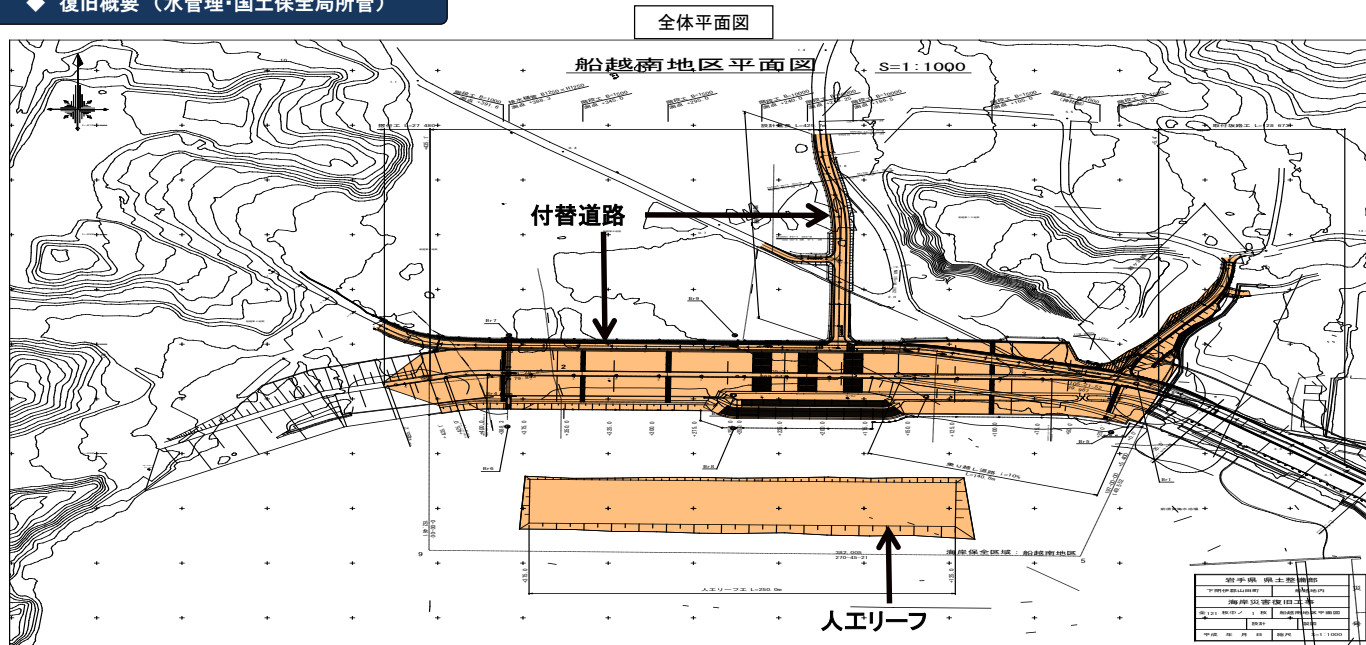
単位: m(T.P.)

地域海岸名	設計津波		堤防高設定値	被災前現況堤防高
	対象地震	設計津波の水位		
船越湾	明治三陸地震	11.8	12.8	8.35



<船越南地区海岸災害復旧(23災599号)工事 事業概要>

◆ 復旧概要 (水管理・国土保全局所管)



完成写真(全景起点側より)



完成写真(全景終点側より)



完成写真(上空より)



◆ 災害査定

工事名 : 船越南地区海岸災害復旧(23災599号)工事

決定額(工事費) : 5,400,225 千円(第3回変更)

工事概要 : 復旧延長 L=429.7m 防潮堤工 L= 729.7m
人工リーフ L=250.0m

標準横断面

